

学校評価アンケートへのご回答、ありがとうございました。結果をご報告いたします。

- 1 評価は、《 A … よくあてはまる B … ややあてはまる C … あまりあてはまらない D … まったくあてはまらない 》の人数です。
- 2 似ているご意見はまとめました。文言も多少変えてあります。
- 3 課題に対する学校の対応策については、それぞれの項目の下に載せました。



項目	No.	質問内容	学校の具体的な取り組み	評価				ご意見等
				A	B	C	D	
家庭との連携	1	学校は、行事の様子や児童の活動の様子を家庭にわかりやすく伝えている。	各種通信やホームページ、オープンスクール・授業参観、保護者会、ふれあいネットとの連携等を通して、知らせている。	21	9	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級通信で1週間の子どもたちの様子を写真付きで知らせていただき、学校での活動がよく分かります。</li> <li>○ 何かあった場合は、家庭に分かりやすく伝えていただきたいです。</li> </ul>
	2	学校は、教育方針や担任の考えを保護者に分かりやすく伝えている。	学級・保健・学校だよりやホームページ、保護者会、PTAの会議等を通して、知らせている。	11	16	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校の取り組みに、保護者の知らないことがまだまだたくさんあるように感じた。</li> <li>○ なかなかホームページを見ることができません。</li> </ul>
	3	学校は、保護者の相談に丁寧に対応し、生活指導面や学習指導面等で意思の疎通を図っている。	電話や連絡帳、面談・家庭訪問等を通して、児童と共に育てるという観点で進めている。	13	12	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習面で心配なことを連絡帳で相談させていただき、すぐに対応していただき安心しました。</li> <li>○ 学校で起こってしまった問題を迅速に知らせてくれて、その後の指導も個人に合わせて行ってくれるので、上手に連携していきたい。</li> <li>○ 細やかに相談に乗っていただき、ありがたいです。</li> </ul>

- 毎週発行の学級通信は、常に最高のもは出せませんが、(無理のない範囲で)報告や連絡、メッセージを重視して作ってもらっています。
- 学校経営については、概略と基本の部分をお知らせしています。ホームページで公開している経営に関する情報も、ぜひ、ご覧ください。
- これからも、学校でのケガや事故、事件等については、その日のうちにご家庭に確実に連絡するようにまいります。
- 学校で気がつかない事件や問題、困りごと等もあると思います。今後とも積極的にご相談ください。

学力向上	4	学校は、授業をわかりやすく工夫し、授業中一人一人の児童を大切にしている。	提示物を準備したり、個別指導を充実させたり、児童のよさをとらえ、励ます声かけ等の取り組みを実践している。また、児童が主体的に学習に取り組めるように指導過程を工夫している。	16	12	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICTの利用等、楽しく意欲をもって取り組んでいるようです。</li> </ul>
	5	学校は、児童の能力や頑張りを認めようと、テストだけでなく、いろいろな面から評価を行っている。	学習過程(授業中の様子、意欲、努力)を重視した評価を心がけている。そして、その様子を便りや連絡帳等で知らせている。また、プラス評価を基本としている。	18	9	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 百人一首等、様々な活動が今後の力になると思います。</li> </ul>
	6	学校は、補充学習や個別学習・宿題プリントの配布・点検等を行っている。	朝活動(算数スキルアップ)、理解状況をみながら、休み時間、放課後に補充学習を行っている。また、宿題や授業中のプリント等の点検はすぐに行い、児童に早く返している。	16	13	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業だけでは理解できていないようで心配です。</li> <li>○ 必要に応じて配慮いただいているのを感じています。</li> </ul>

- ICTの利用については、教員の方も得意な者とまだまだ勉強中の者がおりますが、できるだけ積極的に活用していきたいと思ひます。
- 授業で理解して、生活の中や他の学習の中で使ってみることが大切だと思います。疑問点は自分から質問できる子どもの育成を目指していきます。

心の教育	7	学校は、人権を尊重する姿勢を基盤に、児童同士・児童と教師との温かな人間関係を育てている。	人間関係の基本であるあいさつの励行、縦割り班活動、休み時間の教師を交えた遊びを通して、人間関係を育んでいる。また、はっぴいふれんずデーやウィークを実施している。	13	12	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童同士の間で、自分にとっては嫌な事でもそれを嫌だと相手に伝えられない雰囲気になってしまった。</li> <li>○ 自分も、先生が毎朝してくださった“朝のひと言”や、一緒に遊んでいただいたことは今でも思い出します。教師を身近に感じられることが、子どもの安心感を生む気がします。</li> <li>○ 休み時間の様子を見てみたい。</li> </ul>
	8	学校は、豊かな心を持った児童を育てている。	道徳教育・読書活動の推進、ふるさと学習、規律を守る指導、様々な体験活動、保護者への行事公開等で、心を育てている。	16	11	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳の授業や規律を守る指導など、学校での学習を踏まえ、家庭での教育も大事だと思う。</li> </ul>
	9	学校は、学校生活や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	はじめある生活習慣づくり(各種の保健・健康調べ、学習用具調べ、学習規律遵守)の取り組みを行っている。また、学校生活のきまりを全職員が同一歩調で指導している。	14	14	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 温度差があるように感じる。</li> <li>○ 中一ギャップ等の対応として、学習に対する正しい意識付けをもっとしてもいいと思う。</li> </ul>

- 嫌なことには「嫌だ。」と言える雰囲気を、クラスだけでなく学校全体で作ってまいります。なお、「万場小学校いじめ防止基本方針」をホームページで公開していますので、お読みいただき、ご家庭でもご指導ください。お子様の様子で気になることは、小さなことでも学校へもご相談ください。
- 確かに、休み時間の様子を見ていただく機会はありませんでした。授業参観の時間帯を工夫する等、今後考えて提案いたします。
- 「学校生活のきまり」の指導については、全職員で協議し共通理解を図っています。ただし、厳しさや優しさにはそれなりの差があると思います。
- 自主学習への取り組みを推奨し、一部宿題にもしています。学習への意識付けは今後も様々な機会に促してまいります。

項目	No.	質問内容	学校の具体的な取り組み	評価				ご意見等(自由にお書きください。)
				A	B	C	D	
健康安全教育	10	学校は、学校内・登下校の安全対策をとっている。	危険回避能力を高める避難訓練、保護者及び支援者による見守り活動の工夫、登下校の歩道・学校施設の点検を年間計画に組み込んで行っている。	13	16	1		
	11	学校は、非常時の対応マニュアルを整備し、児童や保護者に対応策(行動方法)を知らせている。	大地震や大雨等による自然災害発生の際に備え、引き渡しカードを使った児童の安全な下校策を示している。また、事故や疾病による非常時に備えたマニュアルを整備している。	18	13			
	12	学校は、児童の健康づくりに積極的に取り組んでいる。	歯みがき指導や各種保健指導、学校保健委員会による啓発等を計画的に行っている。また、体力向上・健康保持のために、「朝マラソン」を実施したり、運動遊びの環境を整えたりしている。	21	9	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 朝マラソンから大会への時期の調整、その他ケガや故障の防止に専門家の助けを借りながら取り組むべきです。</li> <li>○ いつも子どもたちの体力づくりに取り組んでくださり、ありがとうございます。朝マラソンについてですが、マラソンが嫌いな子にとっては心身ともに負担になっているようなので、マラソン以外にも、ダンスやリズム体操など、何か楽しみながら体力向上を目指せるようなものも取り混ぜてみてはどうかと思いました。</li> <li>○ マラソン大会前の休み時間ですが、あくまでも休み時間なので、休みたい子は走らずに休める環境を作ってあげたいように思います。</li> </ul>

- どの運動でも、ある程度専門的な知識と配慮で指導に当たっています。本格的な専門家の指導に関しては、常にお約束はできませんが、具体的なご提案等があれば検討いたします。
- 新体力テストで、本校の児童は持久力等に課題があることが分かっています。登下校や帰宅後の遊びにおける運動不足も一因と考え、少しでも運動不足を解消すること、「朝マラソン」を実施しています。当然、心身ともに「朝マラソン」を負担に感じている児童がいることは承知していますが、ある程度の負担(負荷)は子どもの成長にとって必要なものです。負担が大きすぎる場合は、個別の対応をいたします。マラソン以外にも、「体育集会」等でリズム体操等の運動も取り入れています。また、3学期は「長縄大会」に向けた取り組みを進める予定です。
- 「積算マラソン」時の休み時間の対応については、20分休みのうちの10分のみ、全校で走ろう…という取り組みを進めました。それ以外にも自主的に頑張った子どももいますが、決して強いわけではないです。また、体調を重視して、無理をしないように指導しています。

経営全般	13	学校は、関係機関との連携を進めている。	保育所・中学校・高等学校との連携(特に小中連携)・教育委員会等と連携して、教育活動・相談活動を行っている。また、様々な機関、団体からの支援を積極的に受け入れている。	18	10	2	
	14	学校は、児童が自分のよさを発揮したり個性を伸ばしたりできるようにしている。	学習以外に、縦割り班活動・朝の活動・ボランティア・学級の係活動、専門委員会活動等で、児童の活躍場面を設定している。また、自主的な遊びの中での学びを大切にしている。	17	10	3	
	15	学校は、地域の教育力を生かしている。	社会教育主事の支援を受けながら、学校支援ボランティアの方々や地元の方々にお世話になりながら、教育活動を行っている。また、自然を生かした学習を積極的に進めている。	24	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校外学習でいろいろな体験をさせてもらい、この地域ならではの良い学習だと思う。</li> <li>○ 自然楽校への参加者が少ない。</li> <li>○ 保護者のボランティア力の低下を大変申し訳なく感じています。他の人がやっていないと、できる人も敷居が高くなるのかな、とも思います。また、保護者の参加が増えると思っています。</li> </ul>

- 地域の方々には、いろいろな活動で大変お世話になっています。ご協力いただく方たちの、子どもたちへの愛情や教育への期待の大きさを感じています。
- 「神流自然楽校」は基本的に自主参加です。今年度の活動には、10月までの平均で、対象児童の約6割程度が参加し、保護者の方にもお世話になっています。学校としても、子どもたちが体験的に学習する良い機会と考え、事務局のPR等に協力しています。保護者の方同士でも勧め合っていただけだと思います。
- 保護者の方のいずれも常時家にいないご家庭が増えている状況(全家庭の9割程度です)の中でも、何名かの保護者の方にはやりくりしていただき、支援ボランティアでお世話になっています。また、保護者以外の地域の方の支えも相当に大きいものがあります。今後とも無理のない範囲でのご協力をお願いいたします。

## その他

- 子どもが学校をいやがらずに行くのは、学校が楽しいからだと思います。親としてもうれしいことです。
- 競争力の向上： 町、都会と呼ばれる学校の児童と比較した場合、何処が勝っていて、逆に何処が劣っているのかを教えることにより、井の中の蛙にならないようにする。  
→ 大きな集団でも通じるような行動様式を学ばせています。競争心や世渡りの術等については、体験が不足する傾向がありますが、「読書」等で様々な世界を精神的に体験してほしいと考えています。
- 娘の一件では大変ご迷惑おかけいたしました。集団の中での自分、社会の中での自分、勉強のみならず、社会性を学ぶ場としての学校の意味、とてもありがたいと感じております。  
→ 子どもたちも、いろいろな出来事(体験)を通して、発達課題をクリアしていきます。勉強や運動の他にも、行事や遊びを大切に、一人一人の成長を見守ってまいります。
- 学級通信で保護者に伝えたいことを載せた場合は、その問題の関わり度合いに関係なく、全保護者へ、保護者から聞かれて報告するのではなく、学校側からきちんと連絡や学級通信で知らせるなりしてほしい。  
→ 必要なことについては、報告・連絡・相談を確実に進めてまいります。不足な点、不満に感じる点については、その都度お話しください。
- 集団のルールは、学校に指導していただかなければ身に付かないことが多いと思います。しかし、個人個人の態度、口調などは家庭の指導問題ではないかと思えます。忙しいを理由に子どもとの時間が持てない、子どもと向き合うことができない。それは親の勝手です。子どものためにも親の意識を変えることが大事だと思えました。
- 児童一人一人がどの先生にも何でも話せるような、先生－児童関係を望みます。  
→ そのような関係を目指しております。ご家庭でも、子どもの前では教員の指導については批判を我慢していただけるとありがたいです。その上で、気になることはご遠慮なく、本人または管理職にお話しください。
- 子どもが他の子どもさんに何かをしてしまった場合(わざとではなく間違えてなどの場合にも)、必ず、してしまった側、されてしまった側にも連絡を必ずしていただきたいと思えます。  
→ 学校として、アンテナを高くして(また感度を上げて)子どもたちの(問題)行動は把握し、ご家庭にご連絡いたします。ご家庭でも気になることがありましたら、ぜひご連絡ください。
- 算数と漢字コンテストの賞状ですが、子どもたちにとっては励みになると思いますが、1年間とっておくと結構かさばってしまいます。かといって、いい紙です(最近サイズは小さくなりましたが)捨てるに忍びなく困っています。マイカードに合格シールまたはスタンプを押し、合格シールが貯まったら賞状を渡す、もしくは全部合格だった子に学期毎、または学年末に賞状を出すというのはどうでしょうか。細かいことですがごみません。  
→ 賞状をもらうことを楽しみに(励みに)している子どももいますので、今後も賞状は出したいと思えます。保存については、申し訳ありませんが、各ご家庭で工夫してください。

ご協力ありがとうございました。 アンケートに限らず、ご意見等は、いつでも学校までお寄せください。